

ン、1mg 以上で、600トン程度である。一方、鉄質フェルルールは、少な目に見積っても、 10^8 トンか、それ以上であり、大きなサイズの宇宙物質をすべて、潰しても量的に説明がつかないのではないか。しかし、大気圏外での、太陽系空間での、隕石の破碎というメカニズムを否定している訳ではない。勿論彗星起源かもしれない。今後は、天文観測や、飛翔体観測の仕事と、共通の言葉

で、起源を、寿命を、分布を、時間変化を、詰めていくのが課題であろう。

詳細は、'78年度東大宇宙航空研「月惑星シンポジウム報告」を参照されたい。化学組成や蒸発実験は、野上ら、 ^{59}Ni や ^{58}Mn 定量と解釈は、柳田ら、同位体比異常の検出は、島村ら、構造解析については田沢の報告に詳しい。その他は、筆者の総合報告を参照されたい。

=====

掲 示 板

=====

東京大学宇宙航空研究所助手公募

1. 公募人員 助手 1名
2. 専門分野 宇宙分子過程理論：惑星大気・彗星大気・星間分子雲などにおける分子過程の理論的研究。当研究所は共同利用研であり、研究外の仕事をある程度担当することを含んでおいていただきたい。
2. 着任時期 遅くとも 1979年 4月
4. 応募資格 これ迄の研究歴には必ずしもこだわらない。着任時には博士号を持つか持つ見込であることが望ましい。

5. 提出書類 ① 自薦の場合
履歴書、論文リスト(主要論文別刷)、上記分野に関する抱負(異なる分野からの場合は詳しく)、本人について意見を求めることのできる2人名以上の名前
- ② 他薦の場合
略歴、論文リスト(主要論文別刷)、推薦書2通
6. 公募締切 1978年 12月 25日(月) 必着
7. 宛 先 〒153 東京都目黒区駒場 4-6-1
東京大学宇宙航空研究所所長 森大吉郎
8. 連絡先 同上 電話 467-1111 内線 440 清水幹夫
9. 注意: 封筒に「公募書類在中」と朱書き書留で郵送のこと。

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

定価280円(〒45円) **78-12**月号・11月5日発売!

●12月号のおもな内容

- ★年の暮がせまってきました。気になるのは来年の天文現象。白河天体観測所に1979年の天象を調べてもらいました。月食・星食と来年もにぎやかです。
- ★新製品紹介はアストロ光学のシステム反射赤道儀です。
- ★年末から来年にかけて、木星の衛星土士の食がしばしば見られるようになります。くわしくは観測ガイドで。
- ★新発売になったコダックのコダクローム400、天体写真用にはどうでしょうか。沢山の天体を撮影しました。
- ★天体写真の大先輩フェーレンベルク氏と新進気鋭の藤井さんが、この春ドイツで会い、意気投合しました。
- ★そのほか天文講演、私の愛機、同好会だよりなど。

**全天星雲星団
ガイドブック**

星雲・星団の観測はこれ一冊でだいじょうぶと言う本です。天文ファンが持っている小型の望遠鏡や双眼鏡で見える星雲・星団が全部くわしく、写真入りで掲載してあります。望遠鏡で見るにしても、写真をとるにしても、これがなに星雲かしらべるにしても、この一冊があればだいじょうぶです。今度の版から、南半球へ旅行する人にも役立つように、日本からは見えない南天の星雲・星団も入れました。

全天の星雲・星団ガイドです。

●藤井旭著/A5変型判・332ページ・1,500円 発売中

月面フォトアトラス

●高橋実著/B5変型判・写真編・解説編・3,000円 発売中

誠堂新光社 東京都千代田区神田錦町1-5
振替東京7-6294 電話03(292)1211